

自動車整備科・一級自動車工学科・ 自動車整備スポーツメカニクス科		2021年		授業計画	
時 期	2 年 A 巡	単 元	学 科	教科名	エンジン構造Ⅱ A
科 目	自動車構造	教科書等 持参品	2 級ガソリン自動車 エンジン編 ガソリンエンジン構造		発行日
総時限	6 時限				2021.4.1
必要時限	6 時限				教科担当
					石井
指導教員の実務経験 該当 非該当					
自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの構造、作動について指導する。					
教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
① 4 ストローク 1 サイクルガソリンエンジンの構造、機能を理解する。 ② ガソリンエンジンの性能、燃焼を理解する。					
授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）					
① ガソリンエンジンの燃焼方式がわかり、分類ができ、その特徴が理解出来る。 ② ガソリンエンジンの性能について理解出来る。 ③ ガソリンエンジンの燃焼及び排出ガス特性について理解出来る。 ④ 国家試験に拘るバルブタイミングの問題を解くことが出来る。					
学習評価（期末試験での主な試験項目）					
1) 履修試験での学習評価 筆記試験 1 0 0 点にて評価する。 整備科、S P M 科 6 0 点以上で合格、工学科 7 0 点以上で合格。					
2) 出題試験項目 ① ガソリンエンジンの燃焼方式。 ② エンジンの性能。 ③ エンジンの燃焼。 ④ バルブタイミング。					
準備学習					
事前に一年 A、B 巡エンジン構造Ⅰの内容を確認し、ガソリンエンジンの性能、燃焼、バルブタイミング等について復習する。 次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。					

2021年 授業計画

[illegible]

自動車整備科・一級自動車工学科・ 自動車整備スポーツメカニクス科			2021年		授業計画	
時 期	2 年 B 巡	単 元	学 科	教科名	エンジン構造 II B	
科 目	自動車工学	教科書等 持参品	2 級ガソリン自動車 エンジン編 ガソリンエンジン構造		発行日	2021.4.1
総時限	9 時限		2 級ガソリン問題集		教科担当	石井
必要時限	8 時限					
指導教員の実務経験 該当 非該当						
自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの構造、作動について指導する。						
教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
① 4 ストローク 1 サイクルガソリンエンジンの構造、機能を理解する。 ② ガソリンエンジンの潤滑装置の構造、機能を理解する。 ③ ガソリンエンジンの冷却装置の構造、機能を理解する。						
授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）						
① ガソリンエンジン本体の構造、機能が理解出来る。 ② 国家試験に拘るバルブタイミングの問題を解くことが出来る。 ③ 潤滑装置の構成部品、名称、役割、構造、機能が理解出来る。 ④ 冷却装置の構成部品、名称、役割、構造、機能が理解出来る。						
学習評価（期末試験での主な試験項目）						
1) 履修試験での学習評価 筆記試験 1 0 0 点にて評価する。 整備科、S P M 科 6 0 点以上で合格、工学科 7 0 点以上で合格。 2) 出題試験項目 ① ガソリンエンジン本体の構造、機能。 ② バルブタイミング。 ③ 潤滑、冷却装置の構造、機能。						
準備学習						
事前に一年 A、B 巡エンジン構造 I の内容を確認し、ガソリンエンジンの本体構造、潤滑装置、冷却装置の構造、機能等を復習する。 次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。						

2021年 授業計画

[illegible]

自動車整備科・一級自動車工学科・ 自動車整備スポーツメカニクス科			2021年		授業計画	
時 期	2 年 C 巡	単 元	学 科	教科名	エンジン構造 II C	
科 目	自動車工学	教科書等 持参品	2 級ガソリン自動車 エンジン編 ガソリンエンジン構造		発行日	2021.4.1
総時限	1 4 時限		2 級ガソリン問題集		教科担当	石井
必要時限	1 2 時限					
指導教員の実務経験						
自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの構造、作動について指導する。						
教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
① 4 ストローク 1 サイクルエンジンの構造、作動を理解する。 ② 燃料装置（L P G 装置）の構造、機能を理解する。 ③ 吸排気装置の構造、機能を理解する。 ④ ガソリンエンジンの電子制御装置を構造、機能を理解する。 ⑤ エンジンの燃料及び潤滑油について理解する。						
授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）						
① 燃料装置（L P G 装置）の構造、機能が理解出来る。 ② エンジンの吸排気装置の過給機、可変吸気装置の役割、構成部品、名称が理解出来る。 ③ エンジンの吸排気装置の過給機、可変吸気装置の構造、機能が理解出来る。 ④ 電子制御装置の各センサの名称、役割、構造、機能が理解出来る。 ⑤ 電子制御装置の各アクチュエータの構成部品、名称、役割が理解出来る。 ⑥ 電子制御装置の E C U による制御が理解出来る。 ⑦ 電子制御装置の点火時期制御について理解出来る。 ⑧ エンジン燃料の基材、性質、性状について理解出来る。						
学習評価（期末試験での主な試験項目）						
1）履修試験での学習評価 筆記試験 1 0 0 点にて評価する。 整備科、S P M 科 6 0 点以上で合格、工学科 7 0 点以上で合格。						
2）出題試験項目 ① 燃料装置の構造、機能。 ② 吸排気装置の構造、機能。 ③ 電子制御装置の構造、機能。 ④ 燃料の性状。						
準備学習						
事前に一年 C 巡エンジン構造 I の内容を確認し、電子制御装置の構成部品、制御等を復習する。 事前に一年 B 巡自動車工学 I の内容を確認し、燃料について復習する。 次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。						

2021年 授業計画

[illegible]